

名古屋市立当知小学校での出前講座実施報告書



1) 講座の様子

名古屋自然保護官事務所では、2月1日(木)に名古屋市立当知小学校、3年生3クラス(84名)を対象に出前講座を実施しました。

講座のねらいは、地域の自然について知り、学ぶためのもので、事前にワークブックを用いた学習も行っていました。そこで、今回はクイズをはさみながら、ワークブックでの学習をさらに深めていく講座を進めることにしました。内容は、干潟の仕組みや成り立ち、シジミの実験や干潟の鳥類・底生生物について紹介した後、干潟が保全された経緯やラムサール条約に登録されたことを伝えました。その後、保全された藤前干潟に今も残る問題として漂着ゴミが生物に与える影響について紹介しました。シジミの実験では、シジミの働きが弱くあまり良い結果を得られず残念でしたが、スライドで時間が経つにつれ、シジミが水をきれいにする姿を紹介したら、児童達はとても驚いている様子でした。また、どのクラスからも質問があり、とても興味を持って積極的に講座に参加する姿が見られました。

名古屋市立当知小学校は藤前干潟からとても近い場所ですが、藤前干潟に訪れたことのある児童は少なかったため、ぜひ、今回の学習を機会に藤前干潟に訪れて欲しいと思います。

2) 講座の内容

テーマ：「調べよう まちやもの」～藤前干潟～

1. 干潟ってどんなところ？
干潟の仕組み・成り立ち
 2. どんな生きものがいるの？
シジミの浄化実験、鳥類・底生生物の紹介
 3. 藤前干潟はなくなるところだった?!
保全活動の経緯、漂着ゴミの問題
- 質問タイム



* 出前講座の様子1 (クイズに答える児童達)



* 出前講座の様子2 (底生生物の観察)

3) 実施概要

実施日：平成30年2月1日(木)9:45～12:30

(2時限～4時限、各クラス1時限ずつ)

場所：名古屋市立当知小学校プレイルーム(港区)

対象：小学校3年生(3クラス、84名)、

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

※出前講座については、名古屋自然保護官事務所(TEL: 052-389-2877)までお問い合わせください。

2018年2月5日

名古屋自然保護官事務所

アクティブ・レンジャー 西部理恵